

平成 28 年度 京都知的障害者福祉施設協議会主催研修会 開催要項

自閉症療育を通して成人期の発達をみつめる

—成人期の世界が変わる—

1. 趣 旨

今、障がい福祉を取り巻く様々な福祉サービス事業が大きく見直されようとしています。とりわけ、常時介護を必要としている人たちへの支援、その中核を成す重い障がいのある人たちの日中活動の場である生活介護事業は、予算規模・利用人数においても特に大きくクローズアップされています。重度・強度行動障がいのある人たちへの支援はどうあるべきかは喫緊の課題です。

今回は、長年障がい児者療育に取り組み、大きな反響を呼び、全国からの講師依頼がたえないトモニ療育センターの河島淳子先生・高橋知恵子先生をお招きし、自閉症の正しい理解に基づく行き届いた支援の下では「誰でも、30代、40代からでも、成長できる」ことを全国の成人施設でご指導をされてきた実践についてお話しいただき、成人期の支援のあり方を学びます。

2. 主 催 京都知的障害者福祉施設協議会

3. 受講対象 知的障がい者福祉施設・事業所職員・家族・教育関係者・学生一般

4. 日 時 平成 28 年 9 月 17 日（土） 9 時 30 分～16 時 00 分

5. 会 場 京都社会福祉会館 4 階 ホール

6. 定 員 100 名

7. 参加費 1,000 円（当日） ※会員以外の方を含む

8. 内 容

- 9:30 開 会 （受付 9:00～9:30）
- 9:35～12:30 講演 「自閉症療育を通して成人期の発達をみつめる」
講 師：トモニ療育センター所長 河島淳子氏
実技指導：トモニ療育センター副所長 高橋知恵子氏
- 12:30～13:30 昼食・休憩
- 13:30～14:00 発表①「行動障がいをどのように理解し、どのように向き合うか」
(山城南圏域発達障害者支援センター：飯田周子)
- 14:00～14:30 発表②「重度知的障がいのある自閉症者のギャッベ製作」
(京都ライフサポート協会：常元将平)
- 14:30～15:00 発表③「たまたまアート!さりとてアート！」
(京都市ふしみ学園施設長：寺本眞澄)

15:00－15:15 休憩
15:15－16:00 講師による助言と質疑応答
16:00 閉会

<講師プロフィール>

●河島淳子氏 (かわしま じゅんこ) トモニ療育センター所長 (愛媛県新居浜市)
笠岡市生まれ。昭和41年岡山大学医学部卒業、小児科医師、高知県立中央病院小児科勤務後、第三子自閉症のため、家庭療育に専念する。
自閉症児の母親たちと「わかば会」結成、わかば共同作業所を設立、顧問に就任。
‘97年に法人化し、理事長に就任。トモニ療育センター所長としても活動を展開する。
『精神科医の子育て論』服部祥子著(新潮選著)で、その家庭療育が詳しく紹介されている。
また成人の入所施設においても「課題学習を通じて指導者との意思疎通ができるようになり、大人になっても学ぶことによって生きる力が育つ」と指導されている。

●高橋知恵子氏 (たかはし ちえこ) トモニ療育センター副所長 (愛媛県新居浜市)
1972年、大阪市立大学家政学部児童心理学科を卒業され、1972年から1975年まで医療法人恒昭会「藍野病院」精神神経科にケースワーカーとして勤務後、1975年から1978年まで名古屋大学医学部精神医学教室に研修生として勤務。
その後、1994年6月「トモニ療育センター」開設時より、所長河島淳子先生と共に副所長として発達障害児の療育指導をされる。

9. その他

1) 昼食について

「若杉お弁当」(飲み物付き 550円)のご注文を承ります。
申込み用紙にてお知らせください。

2) 参加申込及び問合せ先

別添参加申込書に必要事項を記入の上、平成28年9月9日(金)までに、
京都知的障害者福祉施設協議会事務局宛お申し込みください。

京都知的障害者福祉施設協議会 (樋口)
〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下ル中之町 519
京都社会福祉会館
TEL : 075-366-6699 FAX : 075-366-6628
E - mail : kyoto-tifuku@cream.plala.or.jp